



平成 29 年 4 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社 ティーツー
代 表 者 名 代表取締役社長 寺田 勝宏
(JASDAQコード7610)
問 い 合 せ 先 取締役管理本部長 藤原 克治
電 話 番 号 03-5719-4580

特別損失の計上、繰延税金資産の取崩し及び繰延税金負債の計上、 並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成29年2月3日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、特別損失の計上、繰延税金資産の取崩し及び繰延税金負債の計上について、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社は以下のとおり、中期ビジョンを視野に入れた戦略転換を図るため、事業構造改革の一環として、平成 29 年 2 月期第 4 四半期連結会計期間において、以下のとおり 398 百万円、特別損失を計上することとなりました。その結果、平成 29 年 2 月 3 日に「特別損失の計上、繰延税金資産の取り崩し及び業績予想の修正並びに配当予想の修正(無配)に関するお知らせ」にて公表しておりました特別損失は 188 百万円増加する見通しです。

(1) 減損損失

平成 29 年 2 月期決算において、不採算店舗等の固定資産について資産の収益性が低下し、投資額の回収が見込めない店舗等が前回公表時より増加したことから、これら店舗等の固定資産についての必要な減損処理が 182 百万円増加し、242 百万円を特別損失に計上しております。

(2) システム開発中止に伴う損失

店舗系基幹システムの開発費等をソフトウェア仮勘定に計上しておりましたが、コストの抑制による計画の見直し等により将来における投資額の回収が見込めなくなることから、必要な減損処理を行うことについて精査した結果、前回公表時より 6 百万円増加し、96 百万円を特別損失に計上しております。

(3) 事業構造改革費用

事業構造改革を行うにあたり、本部機能の集約化により業務効率の向上と改善を図るため、東京本部を移転する計画であり、当該移転に要する費用、不採算店舗の構造改革費用及び物流コストの見直しによる費用として、店舗閉鎖損失 32 百万円並びに事業整理損失引当金繰入額 28 百万円、特別損失に計上しております。なお、前回公表時と表示科目を変更しましたが金額の増減はございません。

2. 繰延税金資産の取崩し及び繰延税金負債の計上について

平成 29 年 2 月期決算において、当期及び今後の業績動向等を踏まえ、当社の繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産の全額 161 百万円を取り崩しました。また、その取崩しにより繰延税金負債 20 百万円を計上することとなり、法人税等調整額 181 百万円を計上しております。その結果、平成 29 年 2 月 3 日に「特別損失の計上、繰延税金資産の取崩し及び業績予想の修正並びに配当予想の修正(無配)に関するお知らせ」にて公表しておりました法人税等調整額は 81 百万円増加する見通しです。

3. 業績予想の修正について

平成 29 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日）

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|--------|---------|---------|-------------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 28,240 | △390 | △380 | △750 | △14.82 |
| 今回修正予想 (B) | 28,345 | △467 | △451 | △1,104 | △21.82 |
| 増減額 (B - A) | 105 | △77 | △71 | △354 | |
| 増減率 (%) | 0.4 | — | — | — | |
| (ご参考) 前期実績 (平成 28 年 2 月期) | 29,236 | 3 | 6 | △149 | △2.95 |

平成 29 年 2 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日）

| | 売 上 高 | 経 常 利 益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|--------|---------|--------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 28,220 | △360 | △730 | △14.43 |
| 今回修正予想 (B) | 28,322 | △435 | △1,093 | △21.60 |
| 増減額 (B - A) | 102 | △75 | △363 | |
| 増減率 (%) | 0.4 | — | — | |
| (ご参考) 前期実績 (平成 28 年 2 月期) | 29,165 | 182 | △208 | △4.12 |

(修正の理由)

売上高は、前回予想より微増となりましたが、利益面においては、一部商材の販売単価の切り下げの影響や在庫評価の見直し、中古商材の低迷による粗利益率の悪化、並びに店舗閉鎖及び物流倉庫の見直し費用等の発生により、前回予想を下回る見込みです。

また、前記「1.特別損失の計上について」及び「繰延税金資産の取崩し及び繰延税金負債の計上について」に記載のとおり、事業構造改革を目的とした、不採算店舗及び店舗系システムの開発の見直し、並びに店舗閉鎖、本部機能の集約、物流コストの見直し等により、平成 29 年 2 月 3 日に「特別損失の計上、繰延税金資産の取り崩し及び業績予想の修正並びに配当予想の修正(無配)に関するお知らせ」にて公表しており

ました特別損失は 188 百万円増加し、また、法人税等調整額は 81 百万円増加する見通しです。

以上の状況を踏まえ、平成29年 2 月 3 日に公表しました平成29年 2 月期の通期の業績予想を上記のとおり修正することといたしました。

※ 上記の予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。実際の実績等は、業況の変化等により上記予測と異なる場合があります。

以 上